

1. 科目名 (単位数)	在宅保育論 (2単位)		3. 科目番号	JNCC1409
2. 授業担当教員	堀 聡子・佐野 葉子・関 容子			
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>保育を必要とする家庭環境及びその背景は多様化し、保育に携わる者には、高度な専門性が求められている。特に、家庭訪問型保育は、家族の支援、子どもの援助、地域の中でのコーディネーターとしての役割を担い、子ども・その家庭のアセスメントと援助には、高い専門性が必要となる。本講義では、ディスカッションや演習を通して、子どもの命を預かる責任を自覚するとともに、社会的なニーズの理解と家庭訪問保育の保育技術の習得を目指し、家庭訪問保育の意義と実際についての理解を深めることを目的とする。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の社会的背景と地域における様々な子育て支援の現状を知り、家庭訪問保育の意義や社会的役割、法的責任について理解する。 2. 家庭訪問型保育における子育て支援についての基礎的知識を習得する。 3. 子どもの発達を理解し、子ども理解と様々な保育形態に応じた援助を理解し、基本的な保育技術を習得する。 4. 保護者や事業者との良い連携の中で、子どもの命を預かる責任を持ち職務を全うし、子どもの健やかな育ちをサポートする家庭訪問保育者の職業倫理を踏まえ、保育マインドと専門性を理解する。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題「子育ての社会的背景を踏まえ家庭訪問保育の意義について述べ、家庭訪問型保育の種類、及び具体的な援助と留意点について考えを述べよ。」</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 公益社団法人全国保育サービス協会 (編)『家庭訪問保育の理論と実際 第3版』中央法規、2022年</p> <p>【参考書】 西郷泰之『ホーム・ビジティング訪問型子育て支援の実際』筒井書房</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	授業の参加態度 (意欲、積極性、発表)	30%		
	リフレクションシート・小テスト等	30%		
	期末レポート	40%		
	<p>本学の規定により、3/4以上の出席が確認できない場合には、単位の修得を認めない。</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>家庭訪問保育では、施設型の保育とは異なる保育の専門性も求められます。保育の基本的理解と子ども理解、そして家族支援の児童家庭福祉の観点から、家庭訪問保育の特徴とその意義を考えるよう努めましょう。また、ベビーシッターの資格をなぜ取得したいのか、しっかりと自己課題と向き合い、授業に参加することに期待します。ディスカッションやグループ発表に積極的に参加し、様々な視点から家庭訪問保育について理解を深めるよう努めましょう。</p>			
13. オフィスアワー	授業内で別途通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 家庭訪問保育とは	事前学習	子ども・子育て支援新制度について事前に調べ、事前学習シートにまとめる。	
		事後学習	家庭訪問保育者が「保育所保育指針」を学ぶ必要性について、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	
第2回	家庭訪問保育における保育マインドと職業倫理	事前学習	教科書 pp. 7-15 pp. 133-144 を読み、関心のあるキーワードを3つ挙げ、その理由を事前学習シートに記入する。	
		事後学習	家庭訪問保育に求められる保育マインドについて、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	
第3回	居宅訪問型保育の概要	事前学習	教科書 pp. 18- 27 を読み、居宅訪問型の特徴を事前学習シートにまとめる。	
		事後学習	地域子ども・子育て支援事業における居宅訪問型保育の意義について、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	
第4回	乳幼児の生活と遊び	事前学習	教科書 pp. 28-37 を読み、1対1で行う子どもの遊びについて事前学習シートにまとめる。	
		事後学習	1対1で子どもと遊ぶ際に配慮することについて、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	
第5回	乳幼児の発達と心理	事前学習	教科書 pp. 38- 52 を読み、関心のあるキーワードを3つ挙げ、その理由を事前学習シートに記入する。	
		事後学習	子どもの発達を支える保育者の役割について自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	
第6回	乳幼児の食と栄養	事前学習	教科書 pp. 53- 63 を読み、関心のあるキーワードを3つ挙げ、その理由を事前学習シートに記入する。	
		事後学習	家庭訪問保育において、保育者は食と栄養についてどのようなことに配慮及び留意する必要があるか、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。	

第7回	小児保健ⅠⅡと子ども虐待	事前学習	教科書 pp.66- 88 、教科書 pp. 158-168 を読み、家庭訪問保育において起こりうる事故・怪我・病気及び虐待について分からない用語を事前に調べておく。
		事後学習	家庭訪問保育において起こりうる事故・怪我・病気に対する留意点とその対応についてリフレクションシートにまとめる。
第8回	実技講習 心肺蘇生法	事前学習	異物除去法、心肺蘇生法について、教科書 pp.88-91 を読み、その方法をイメージしておく。
		事後学習	緊急時の対応をリフレクションシートに自身の言葉でまとめる。
第9回	環境整備と安全・リスクマネジメント	事前学習	教科書 pp.106-115 を読み、分からない用語を調べておく。
		事後学習	子どもの居宅で行われる保育の環境整備について配慮事項をリフレクションシートにまとめる。
第10回	特別に配慮を要する子どもへの対応	事前学習	教科書 pp.170-184 を読み、分からない用語を調べておく。
		事後学習	特別に配慮を要する子どもへの対応における居宅訪問型保育者の役割について、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。
第11回	保護者支援と対応	事前学習	教科書 pp. 145-156 を読み、分からない用語を調べておく。
		事後学習	居宅訪問型保育における保護者との信頼関係作りの具体的な方法を考え、リフレクションシートにまとめる。
第12回	保育内容と計画・記録	事前学習	教科書 pp.93-105 を読み、分からない用語を調べておく。
		事後学習	居宅訪問型保育の特徴と保育内容・記録について本日の授業を踏まえ、気づいたことをリフレクションシートにまとめる。
第13回	保育技術—遊びと生活— ①グループ発表準備	事前学習	グループ発表に備え、これまで学習した保育技術について復習しておく。
		事後学習	グループ毎に遊び、離乳食、授乳、着替え、排泄（おむつ替え）に分かれ、具体的な方法を他のグループに伝えられるように準備をしておく。
第14回	保育技術—遊びと生活— ②グループ発表	事前学習	グループ発表がスムーズに行えるよう準備をしておく。
		事後学習	各グループの発表を踏まえ、家庭訪問保育の保育者に求められる保育技術について考えたことと自己課題をリフレクションシートにまとめる。
第15回	様々な家庭訪問保育 業務の流れと運営（外部講師）	事前学習	教科書 pp. 116-123、pp. 229-241 を読み、分からない用語を調べておく。
		事後学習	保育所保育士と居宅訪問型保育者の業務内容や運営の相違について、また、それぞれの保育サービスを実施する際の留意点について、自身の考えをリフレクションシートにまとめる。